

視聴覚教育

NO. 366

発行日

22. 10. 26

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

フィルタリングの落とし穴

学習情報指導員 森 竜師

インターネットができる携帯電話が売り出されてから十年が経った。真っ先に飛びついた高校生を中心に進化を遂げてきたこの「史上最強の遊び道具」は、今や中学生・小学生を飲み込む勢いで普及してしまった。携帯電話は、「ケータイ」という新しいメディアとなった。

ケータイの小さな画面の向こうには、子供の大好きな遊びと出合いの場が広がっている。いつでもどこでも暇な時、寂しい時、憂き晴らしたい時にネットに入り込んで、出合いにも繋がるバーチャルな遊びができる。ケータイは、これまで大人が子供に禁じてきたことが、ほとんどすべてできる魔法の力を持っている。親や教師から邪魔されず、危ないスリルと楽しさを味わうことができる道具を子供は手に入れた。そんな時代の流れの中で、二年ほど前に「青少年インターネット環境整備法」が施行された。E M A（モバイルコンテンツ審査・運用監視機構）は、コンテンツの健全な発展と、青少年を有害情報から保護することを目的としてネットを監視し、健全なサイトの認定を行っている。

視聴覚用語

『ログイン』

端末をホスト・コンピュータやネットワークに接続して、データのやりとりやファイルの操作ができる状態にすること。たいていの場合は、ユーザー登録名とパスワードが必要となる。

そして、昨年度からは携帯電話の新規契約者に対してフィルタリング機能の付いたものを提供する。E M Aの認定リストに基づいたフィルタリングの認知度は高まり、子供たちの間にも急速に普及していると、多くの報告がされている。

しかし、現実には何が起きているのか。本年度の九月、宣伝でも有名な「モバゲー」「グリー」がE M Aによって認定リストに加えられた。これらはフィルタにブロックされることなく、子供たちの遊び場となっている。

宣伝効果によって「ゲームサイト」と認識されやすいこれらのサイトは、実はゲームサイトではない。プロフとミニメールによって「出会いを楽しむ遊び場」である。警察庁のまとめによると、本年度上半期にこうしたソーシャルネットワークキングサービス（SNS）のサイトを通して犯罪被害に合った子供（十八歳未満）は六〇一人で、昨年同期を十%上回ったと報告されている。「非出会い系サイト」が「出会いの場」として機能していることが浮き彫りにされた。こうした実態が、子供たちの現実であることを私たちは知らねばならない。子供を守るために、情報モラル教育への期待と果たす役割は大きい。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

平成22年度岡崎市教育研究大会

9月2日（水）、藤川小学校で岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院教授であり、名古屋大学教育学部附属中・高等学校校長の大谷尚教授をお迎えし、「デジタル社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。発表された7点のリポートの内容を分類すると次のようになる。

- ① 情報モラルについての研究（1点）
 - ② メディアリテラシーを育てる研究（1点）
 - ③ メディアの利用、活用の研究（5点）
- 助言者の大谷先生から、一人一人に丁寧なご指導、ご助言をいた。

なお、「父母と教師の教育を語る会（県教研）」には、次の二名が推薦された。

・六ツ美中部小学校 鈴木 広樹先生

「情報モラルを身につけ、正しい知識を

持った子どもの育成」

・甲山中学校 鈴木 基之先生

「思いやりあふれるコミュニケーションを

創造する生徒の育成」



実践報告Ⅱ

「学んで遊べる自作教材」ごみごみ探検隊Ⅱ

六ツ美西部小学校 神野 裕美

4年生の社会科「ごみと住みよいくらし」のクリーンセンター見学の前学習で、OKリンク（岡崎教育ネットワーク総合リンク）のHP（ホームページ）の「自作教材（一覧）」にある「ごみごみ探検隊」を活用した。

クリーンセンターのごみピットでごみを落としていたる収集車の様子や、ごみをかき混ぜる様子などを大型ディスプレイで見せ、施設の様子を把握させてから見学に行った。そのため、見学の視点ははっきりとさせることができた。また、休み時間には子供たちが喜んで分別クイズに挑戦していた。大人でも考える必要があるものが多く、何度も挑戦する子もいた。

中学年の社会科には、見学の必要な単元が多い。見学を学習の初めの段階で行うか、まとめで行うか悩むところである。何度も見学に行くことはできないので、このような自作教材ソフトやビデオ教材などを大型ディスプレイに拡大提示して効果的に授業を進めたい。



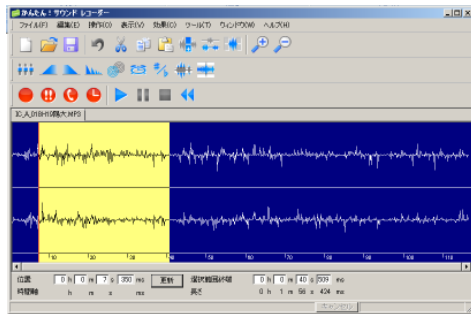
Ⅱレッツ・トライⅡ

「かんたん！サウンドレコーダー」を使って

先日ある研究会で、児童の長期にわたる会話の様子について報告する機会があった。三十分程度の間にテーマに合った会話記録を資料としていくつか提示することにした。そのため過去のボイスレコーダーによる会話記録から適当な部分を切り取る必要があった。

そこでフリーソフト「Sound Engine Free（サウンドエンジンフリー）」を使って、一時間の授業記録の中から二十秒間程度の会話を切り取るうとしたが、ボイスレコーダーのファイル形式であるMP3を受け付けなかった（注）。それで市販されていた「かんたん！サウンドレコーダー」を使って切り取り作業をした。

このソフトを使うと正確な範囲で音声データを切り取ることができ、小さい音量を大きくしたり、雑音を取り除いたりすることもできた。パソコンから出力されるすべての音声データの切り取りが簡単にでき、効果音やDVDの音声の編集に便利ではないかと思う。（注：フリーソフトでMP3ファイルをWAVE形式に変換すると使える。）



（連尺小学校 学習情報主任 倉地 均）

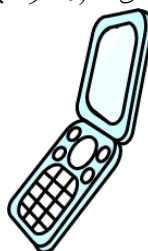
ライブブライラーだよ

●視聴覚ライブラリー 出張講座のご案内

ネットの闇から子どもを救え！

くだいじょうぶですか？ ケータイ！

インターネットや携帯電話の普及に伴い、子どもたちが、パソコンや携帯電話を利用した犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが多発しています。いわゆる出会い系と呼ばれる有害サイトだけでなく、非出会い系サイトの中でも子供たちが被害に合うケースが急増していることをご存知でしょうか。本講座にお申し込みいただけますと、ライブブライラーよりインストラクターを派遣し、保護者や地域の方々を対象にして、ネット社会の危険な現状と子供をネット社会の闇から守っていくための具体的な手立てについてお知らせします。ぜひご活用ください。



内容

○安心ネットインストラクターの講演内容

① インターネット関連犯罪の実態

② ご存知ですか？ 「頭越しの危険」

③ ペアレンタルコントロールの勧め

④ ファイルタリングについて

○ 視聴覚ライブラリー所有「情報モラル」関連教材の紹介と視聴など

問い合わせ先 岡崎市視聴覚ライブラリー

電話 二三-六七八九